

桃栗  
vs  
黒柿

R-18


エロボクシング漫画38ページ！

## ●桃栗VS黒柿戦

★特別付録★

- 桃栗&黒柿選手  
立ち絵イラスト
- 奥付凌辱絵  
フルカラー作品

可愛い美少女2人が全裸で  
本気ファイト見せちゃうぞ♡



地下ボクシング。

そこは美少女と野獣のみが入る事を許された闇のコロシアム。

各々、事情を抱えたアスリート達が多額の賞金を求め集う場所。

今夜も肉欲と暴力に飢えた凶者が群がるリングに生贄の美少女ボクサーが降り立つ。

大きな歓声と共に合図のゴングは鳴った。  
美しき贄達の舞い踊る戦いが始まったのだ！

- 勝者100万円
- 敗者20万円

◆女性選手は全裸で試合をする。(但しグローブ、シューズは装着する。)

◆クリンチした際、30秒の破廉恥行為を了解する。その行為によって「イク」場合、イッた選手は1ダウンとする。

◆ダウンして10カウントに入った場合、その時間内にレフェリーの男根にダウンした選手はロマ●コでご奉仕しなければならない。しなければ即失格(DQ勝ち)になる。この行為中カウントは止まり、1分以内に射精させる事が出来れば、そのダウンを「無効」とする。

◆特別失禁ルール。どんな場合でも小便(失禁)は1ダウンとカウントされ、大便(脱糞)は即失格(DQ勝ち)となる。

(※但し脱糞行為は、いたって一般的な事であり、リョナ行為としては判定されない。※選手の名誉保護)

◆試合に負けた選手はレフェリーにリング上で吟味された後、会場のお客様と乱交イベントに参加しなければならない。(※次の試合がある場合、抽選券配布・制限時間30分。メインの場合2時間～。)

～反則行為～

★ジェンダー気質でのレフェリーへの抗議又は暴力。

★過度な流血への拘り。執拗な攻撃。

★凶器による攻撃(売り物に対しての欠損)。

★人気投票でのお客様の作為的投票行為。

◆その他のルールはボクシング基準に準ずる。

実況(さあ、様子見は終わり  
第2ラウンドです。

《新人の桃栗選手、アマチュアでは常に上位にいた実力者、人気もある彼女は、この地下ボクシングでどんな試合を魅せてくれるのか？

《対するのはベテラン、黒髪の美しい黒柿選手、こちらも地下ボクシングでは3位の実力者だ！

【桃栗VS黒柿戦】

桃栗「しゅっ！」

《今度は桃栗選手の左い！

黒柿「っと！」

《おっと先攻う！黒柿選手右ストレート！

《しかし相手はちゃんと見ているぞ！



♥ECHI ECHI♥

エチエチ♥  
ボクシング

実況《からの右ボディー！

黒柿『くふっう::

黒柿『生意気！  
潰してやるわ！』



実況《続いて左一っ  
しかし外れるう！》

桃栗『かふっ！！』





黒柿「これで終わり！」



桃栗「させません！」

『きゃぶっ！』



桃栗  
『はああっ!』

『りゃあっ!』

黒柿  
『ぶべえっ!』

実況《桃栗選手！強力なアッパー！  
黒柿選手たまらずダウン！





レフェリー「シッススウウ～  
セブウウウン！」



黒柿「つつっ…  
やってくれたわね。」



ボロ  
ン



『んふ♡

んふ♡  
んふ♡

んふ♡  
んふ♡

★ 桃栗「ええっ!?!」





これが地下ボクシング？



実況《レフェリー、臭苦い精液をちゃんと飲んだかチェック！



《OKのようだ！試合続行！



桃栗「これが…

！

実況「さあ、試合再開だあ！」



実況《黒柿選手のカウンター！！



桃栗『え！？



実況《桃栗選手！  
反撃のワンツウ！



桃栗『くっ！



『ぶはうっ！ ::

《と、かわしてからのボディーツ！！



「黒柿選手そのまま、  
桃栗選手をロープ際にと  
追い込む！」



『ぐばあ！』



実況《続いてアッパー！》

桃栗『はぶっ！』



実況「つと！しかし  
上手く弾いた！」



黒柿「トドメっ！」

桃栗「ふぐっ！」



「ただの案山子じゃ  
ないみたいね？」



《桃栗選手  
窮地を脱出っ！》

「ふーん。」





黒柿『自分も、さっきの私の様に  
されるんじゃないかって。



『負ければ、メス豚性処理オナホ  
ボクサーになる自分にね！



『でもその余裕、ちょっと生意気ね。ぶっ殺してあげるわ！』

『わっ！』



『そんな事ありません！』

『へー清楚気取って、大したエロがキね〜』

『そんなクっサイおデブ、チュッチュしたいんだ？』



桃栗『私があんな事やこんな事...』

黒柿『あら〜想像しちゃったの？その顔、満更じゃないわね？』



『きゅふっ...』

『そらあ！』

実況《黒柿選手のボディー！！》

《そして左の  
ボディーツ！



『ふんっ！

黒柿『ひぎゅうーっ！ ::

実況《更にボディーツ！  
しかし上手くガードされた！



桃栗『たりやあ！



《桃栗選手の右っ！



実況《白熱！気合！お互い一步も譲らないっ！



《つと、ここでゴング！  
第2ラウンド終了っ！



《熱き素晴らしい戦いに  
興奮冷めやらぬ場内だ！



煽ったつもりが、逆に正気に  
戻らせるなんて、とんだ誤算ね。

「アマ時代のじゃじゃ馬娘、  
伊達じゃないってところかしら。」

桃栗「…最初のダウン  
きっとワザとだ。」

「私にエッチなところ  
見せ付けて油断させる為の。」

「こんな地下にもあんな風に  
戦える人がいるんだ。」

「アマで戦った誰よりも強い。  
私、自惚れてたかも…うん。」

「…あの人が強い。」



黒柿(どんな場所でも自分のペースに持ち込む才能があるのね。次したものだわ。)



スタッフ「黒柿さん相手に善戦ですね、素晴らしいです！これどうぞ。」

桃栗「有難うございませ〜ん。」



(だから次のラウンドで終わらせてあげる♡)



(最初は裸で戦う事さえ嫌がってたのに。)

相手が同じ女性だから試合に集中出来るようになったのね。

(でも、まだわかってないわ。あのお嬢ちゃん、これが地下ボクシングって事をね。)

ニノ



《桃栗選手～  
リズムカルに  
攻撃を繰り出す！

《負けじと  
黒柿選手  
応戦だ！



《さあ、  
第3ラウンド  
開始です！



《繋げるように  
ポディーっ！！

『はぐっ！』



《桃栗選手  
ストレート！！

黒柿「ぐっ！

実況《更にもう一発！！》

黒柿『ぐふっ！』

《桃栗選手の連続攻撃が綺麗に決まったー！》

《黒柿選手、  
たまたま  
クリンチだ！》

『かはっ！』

桃栗『あ！  
えっ？』

黒柿「ええ、大丈夫、ごめんなさいね。」

桃栗「だ、大丈夫ですか?..」

『それでは試合に戻ろうかしら。』

『はい!』

『からのレズキッス!♡』

! ?

キッス♡

実況「これは一っ!」



「ほ～ら、  
くちゆくちゆ～♪

『やああん！…

実況《百合クリンチ  
きたー！



黒柿『んん～？

桃栗『な、  
何を？；



『イイ事よ♡

くちゆくちゆ



『ダーメ♡』

いっしょ

『そん…んんっ！』



黒柿『ん～？』

フキキキ  
フキキキ  
フキキキ



桃栗『や、やめて下さい！』



『こんな事、人前で、  
女の子同士で…やめて…』



チュ  
/10.

『あなたの  
オツパイ  
美味しいわ♡』



ぽ  
ん  
ぽ  
ん  
ぽ  
ん

『レロレロレロ～  
ふふふっ♪』

『ふううんっ♡』



『我慢しないでいいの、  
気持ちよくイッちゃいなさい  
ほらほら♡』

『そんなあ、  
ふっ！ふっ！  
うううっ…！』



黒柿『ほ～ら  
ほ～らあ～♡』

桃栗『だ！ダメ！やん…』



『もう無理です～』

『お願いします！  
もうやめて下さい～』



『やああああ——ん！  
やあああ——っ！！♡』



実況《おおーっ！  
天使の泉が噴き出した！



《黒柿選手のイチャラブ百合クリンチに  
桃栗選手、たまらずダウン！



レフェリー「ワン！  
ツウウー！」



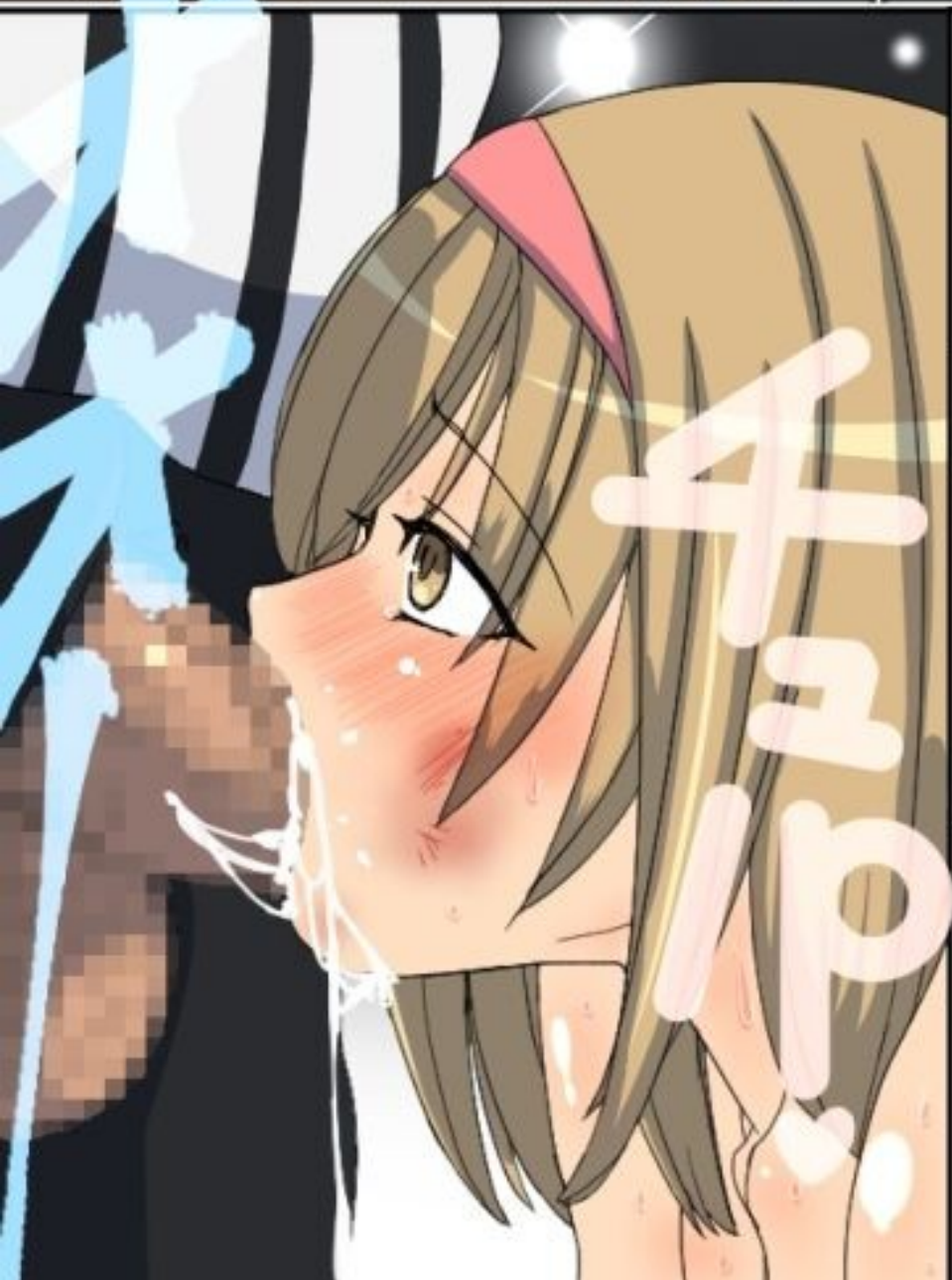
《そしてレフェリーの  
カウントが始まった！



観客A「うおー  
アイツ派手に  
イケたな〜！」

観客B「リング  
汚し過ぎだろ！」

桃栗「たっ立たなさや。」



（さっき黒柿さんが  
警めたっく、臭い。  
これを私も？）



レフェリー「フオオ〜  
ファイブ！」

「うっ！」



「やらなさや…  
このままじゃダウン  
した事になっちゃう。」

「…。」

『あうああ…ゲホッ！  
ハアハアハア…』



レフェリー『ブヒッ！ブヒヤヒイ～！』



桃栗『んぐっ！』

『んぶっ！』

『いぐ！いぐ！いぐ！  
いぐううう～～～っ！！』



『んんん——っ！！』



実況「桃栗選手、カウントを逃れるも立ってるのがやっただ！」



桃栗「ハアハアハア…」



黒柿「メス穴  
：サンドバッグ  
完成ね♡



黒柿「決めるわよ！」

桃栗「!!」



『ふぐっ!』



『ぽびゅっ!』

桃栗「べひゃ！」

実況《桃栗選手の  
顔面は血の海だ！  
これは酷い！

《からのボディイイー！！

『ふぎゅあっ！

《そしておまけの左だあ！

桃栗『あぎゃう！



《連打！連打！連打！  
黒柿選手が止まらない！

桃栗『あぎゃあああ——うううっ！！』



黒柿『トドメ！』

桃栗『きゃふあああ——  
——っ！！』

実況《黒柿選手！ラッシュからの  
強烈な右アッパー！！

桃栗『…』

《桃栗選手、ダウン！  
これは立てないーっ！

《アマチュア界の強者を仕留め、見事勝利を掴んだ！！》



黒柿「アハハハッ！  
やったわ！  
応援有難う、皆っ♡

実況《レフェリー、カウントせず試合を止めた！》



《試合終了おおーっ！  
勝ったのはベテラン、  
黒柿選手の方だあ！》

アナウンス《それでは  
整理券をお持ちの方は  
リング上にお集まり下さい。》



《これより桃栗選手による、  
敗北乱交パーティーを開催いたします…》

END

# エチエチボクシング

犬飼も私  
ボクです

◆作者・桃色ランプ  
◆発行・星1ソフト

●この作品はフィクションです

※無断転載・素材使用・アップロード禁止



♥エチエチボクサー♥

栗代  
桃花



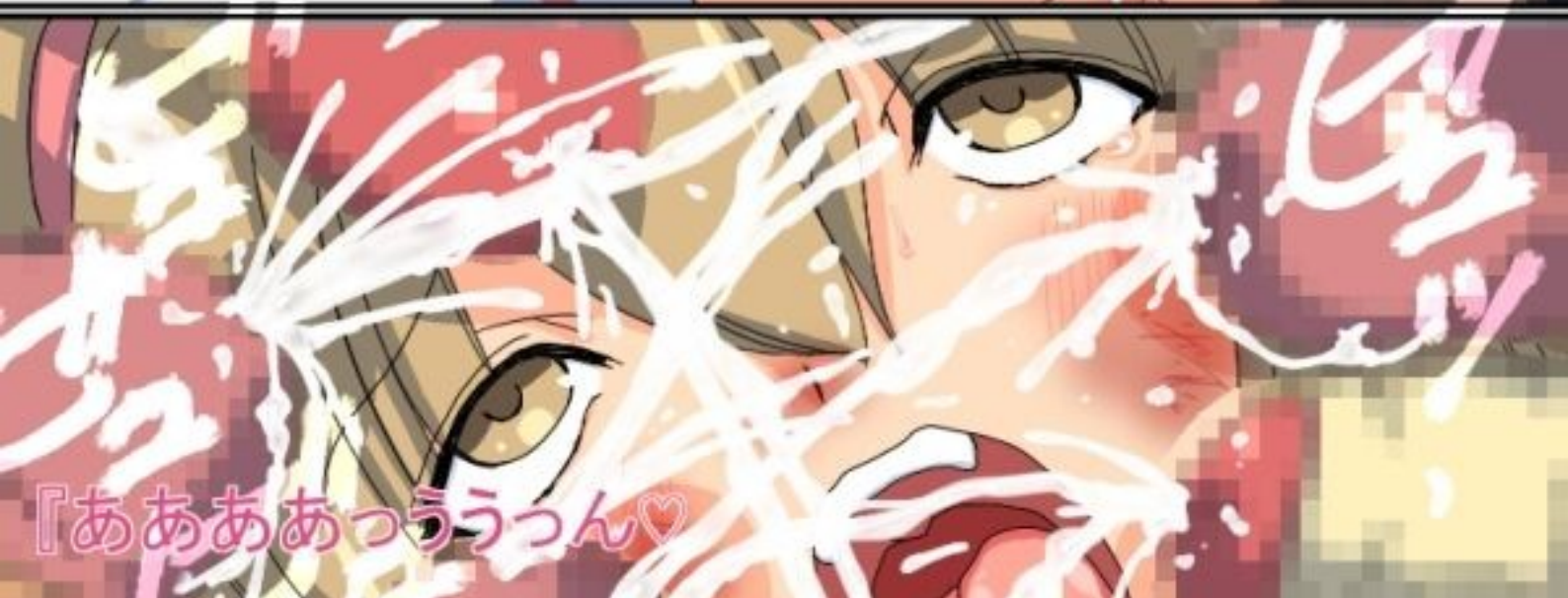
♥エチエチボクサー♥

黒柿  
八重

桃栗『ふんあつ！んんんっ！  
そんなあ、こんないっぱい！』

私も食け  
たぞ

『ハアハアハア…やああん♡  
やだやだ！またイツちやうん！』



『ああああっうっん♡』

